

2026年度 名古屋学院大学 聖句カレンダー

本学では、聖書のことばが学生生活の節目や支えになることを願って、年度聖句と毎月の聖句を定め、学内各所に掲示したり、折々に用いたりしています。この一覧表では、それぞれの月の聖句と、選んだ背景が記されています。眺めたり、熟読したり、それぞれにご活用ください。

2026年度聖句

**「だから、平和に役立つことや、互いを築き上げるのに役立つことを追い求めようではありませんか。」
(ローマの信徒への手紙14章19節)**

【年度聖句について】

世界で戦争や対立による分断が深刻化している今、NGUは「平和に役立つこと」や「互いを築き上げるのに役立つこと」をひたすらに追い求めたいと思います。聖書が語ろうとしている平和とは何か、愛とは何かについて、聖書の言葉に聴き、チャペルアワーを通して学び、一人一人が真剣に向き合っていきましょう。

	箇所	聖句本文 (聖書協会共同訳)	Book/Chapter/Verse	Scripture (NRSV ue)	解説
4月	マタイによる福音書22章37~39節	イエスは言われた。「『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の戒めである。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つの戒めに、律法全体と預言者とが、かかっているのだ。」	Matthew 22:37-39	'You shall love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your mind.' This is the greatest and first commandment. And a second is like it: 'You shall love your neighbor as yourself.'	常に建学の精神「敬神愛人」を出発点かつ目標として意識すること、それこそが私たちがつちかってきた名古屋学院大学のアイデンティティです。
5月	ホセア書6章3節	我々は知ろう。／主を知ることを切(せつ)に求めよう。／主(しゅ)は曙(あけぼの)の光のように必ず現れ／雨のように我々を訪れる。／地を潤(うるお)す春の雨のように。	Hosea 6:3	Let us know, let us press on to know the LORD; his appearing is as sure as the dawn; he will come to us like the showers, like the spring rains that water the earth.	名古屋学院大学が、キリスト教主義にもとづく学問共同体であることを、「曙館」命名のもととなったこの御言葉(みことば)も指し示しています。
6月	詩編37編5節	あなたの道を主に任(まか)せよ。／主に信頼せよ。主が成(な)し遂(と)げてくださる。	Psalms 37:5	Commit your way to the LORD; trust in him, and he will act.	新しい出会いにわきたった心も落ち着き、次のステップへの迷いも生まれる梅雨時に合わせて、聖句を選びました。
7月	【年度聖句】 ローマの信徒への手紙 14章 19節	だから、平和に役立つ(やくだ)つことや、互いを築(き)き上げるのに役立つことを追い求めようではありませんか。	<Annual Scripture> Romans 14:19	Let us then pursue what makes for peace and for mutual upbuilding.	「正義」と「平和」は実際問題として時に対立することもあります。しかし私たちは「敬神愛人」をものさしとして、互いに高めあい、「正義」と「平和」の実現を求めていきましょう。
8月	詩編121編5~6節	主(しゅ)はあなたを守る方。／主はあなたの右にいてあなたを覆(おお)う陰(かげ)。／昼、太陽があなたを打つことはなく／夜、月があなたを打つこともない。	Psalms 121:5-6	The LORD is your keeper; the LORD is your shade at your right hand.; The sun shall not strike you by day nor the moon by night.	詩編121編は旅路に立つ人が「自分はこれから何に支えられて歩くのか」を思いめぐらす歌です。神の祝福に信頼して今日も歩むことができますように。
9月	ローマの信徒への手紙15章13節	希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって、あなたがたを希望に満ち溢れさせてくださいますように。	Romans 15:13	May the God of hope fill you with all joy and peace in believing, so that you may abound in hope by the power of the Holy Spirit.	新しい学期が始まり、期待と不安が入り混じる季節。そんな時に心が落ち着き、前へ進む力が満たされますように、祝福を祈る御言葉を選びました。
10月	箴言3章5~6節	心を尽くして主に信頼し／自分の分別には頼るな。／どのような道を歩むときにも主を知れ。／主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。	Proverbs 3:5-6	Trust in the LORD with all your heart, and do not rely on your own insight. In all your ways acknowledge him, and he will make straight your paths.	創立記念の10月は、本学が大切にしてきた「真理を求め歩み」(ヨハネ8:31-32)をあらためて思い起こす時期です。箴言3章のこの言葉は、自分の理解だけに頼らず、より深い視点に心を開くことで、歩むべき道が整えられていく、という知恵を語っています。
11月	テサロニケの信徒への手紙 一 5章 11節	ですから、あなたがたは、今そうしているように、互いに励まし合い、互いを造り上げるようにしなさい。	1st Thessalonians 5:11	Therefore encourage one another and build up each other, as indeed you are doing.	秋の実りの一方で、残暑からの疲れが出やすく、気持ちが沈むこともある季節。そんな時に「一人ではなく、共に歩んでいる」ことを思い起こさせ、キャンパスの中の小さな助けや声かけをそっと後押ししてくれる聖句です。
12月	ヨハネによる福音書1章5節	光は闇の中で輝いている。闇は光に勝たなかった。	John 1:5	The light shines in the darkness, and the darkness did not overtake it.	イエス・キリストの降誕をお祝いするクリスマスに向けて過ごす待降節(アドベント)は、希望を求める私たちの人生、そして社会の象徴でもあります。小さな光が見えること、そしてその光は消えないことを信じてともに歩みましょう。
1月	コリントの信徒への手紙 二 5章 17節	だから、誰でもキリストにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去り、まさに新しいものが生じたのです。	2nd Corinthians 5:17	So if anyone is in Christ, there is a new creation: everything old has passed away; look, new things have come into being!	過ぎた日々を振り返りつつ、これからの歩みに心を開く1月。変わることをおそれず、変えてはならないものを見つめ続ける季節にしたいと思います。
2月	詩編62編2~3節	私の魂はただ神に向かって沈黙する。／私の救いは神から。／神こそわが大岩(おおいわ)、わが救い、わが砦(とりで)。／私は決して揺(ゆ)らぐことがない。	Psalms 62:1-2	For God alone my soul waits in silence; from him comes my salvation. He alone is my rock and my salvation, my fortress; I shall never be shaken.	1月は行く、2月は逃げる、3月は去る、そんなあわただしさの中で、私たちに確かな土台が与えられています。
3月	民数記6章24~26節	主があなたを祝福(しゅくふく)し、あなたを守られるように。／主が御顔(みかお)の光であなたを照(て)らし／あなたに恵みを与えられるように。／主が御顔(みかお)をあなたに向けて／あなたに平和を賜(たま)わるように。	Numbers 6:24-26	The LORD bless you and keep you; the LORD make his face to shine upon you and be gracious to you; the LORD lift up his countenance upon you and give you peace.	旅立つ者、見送る者、それぞれがこれから歩む道に守りと平安が豊かにあることを願い、聖書の中でも最も美しい祝福の一つをささげたいと思います。